

宣証 - Sensho -

令和2年7月豪雨について

お亡くなりになった方々の覚え、心からのお祈りを申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

中澤 竜生
スタッフ一同

「さあ、わが民よ。あなたの部屋に入り、うしろの戸を閉じよ。憤りの過ぎるまで、ほんのしばらく、身を隠せ。」（イザヤ書 26章20節）

聖書の一節を読むと、出エジプト記に書かれている「10の災い」の最後を思い出します。そして、いまだ世界中を混乱に陥れている新型コロナウイルスを脳裏にちらつかせます。

◆3月から始まった自粛

2月末、関東での啓蒙活動を終えた帰りの新幹線でのことです。車内は満席状態で、大きな荷物が通路や私の席にも置かれている状況でした。

ようやく席に座っても窮屈感が半端なく、全身体が休まらない。それでも「大宮駅から乗ったから、1時間半の我慢」と言い聞かせていたその時、隣に座る同年代のおじさんが、ビールとシュウマイをひっくり返してしまいました。

周辺に座る方も思わず「あっ」と声を発し、その瞬間からしばらくは異様な匂いが周辺を包み込みました。

マスクをしていた私ですが、「臭気とウィルスではどちらが小さいのだろう」とふっと考えてしまいました。

何とか自宅に到着したのは夜遅くでした。好物の鯖寿司を食べながら、テレビを観ると中国・武漢でのコロナ感染が収まらず、緊迫した状況だとニュースで流れていました。その映像を見て満員だった帰りの新幹線を思い出しました。

それからお風呂に入って休もうとしたときです。急な吐き気と倦怠感におそわれました。その後、一気に熱が上がり、そのまま何度も嘔吐を繰り返しました。

翌日、病院に駆け込み、覚悟を決めましたが、詳細な検査をすることなく、「疲労」と判断され、薬局に寄って帰宅しました。

その後も宿泊したホテルで朝食を食べた際、多くのアジア人が隣接していたことなど、いろいろと脳裏に浮かびました。今思えば、当時はまだ言われていませんでしたが、「三密」だと考えられる場面がいくつもありました。

とはいえ、帰宅した後に食べた鯖寿司による食中毒かも知れません。ですが、それほどに感染を疑ってしまう「不安」がありました。それは全国でも同様で広がっていきました。

◆不要不急の外出制限と移動制限

コロナウィルスに対する不安から、これまでの社会における仕組みが大きく変わりました。「近くに感染者が出た」といった誤報が広がり、その周辺には行かないという現象が起こりました。

さらに私が住む仙台市では、県外から来た車に誹謗中傷ともとれる貼り紙をする人が現れました。それほど人の動きに過敏になる様子が伺えます。

私は仙台市在住ですが、宮城県内でもナンバープレートが変わります。仙台市を出れば、「宮城県」プレートですから見られていることに気を配る必要があります。それで私はウィルス事情も併せて3月から現在に至るまで被災地には行けない状態が続いています。

◆電話で安否確認

3月から5月頃までは心が落ちつかず、どうすればいいのか考え込んでいました。それでも、現場からの相談があり、話し合うことで改善を図っています。また、どうしても電話で解決できないことについてはいつでも対応できるように備えてもいます。

◆リスクを回避しなさい

9年目を迎える被災地では、諸々のイベントが企画されてきました。特に私たち、宮城三陸3.11東日本大震災追悼記念会準備委員会も、何度も会合を開き、1年かけて準備してきました。

それが3月初め、仙台市でコロナ感染者が出たことにより中止を決断。それは、①集うことの高齢者、患者に感染させないため②集うことがメインではなく、生きることを重視するため③考えられるリスクに備え、責任ある活動をするためでした。

被災地では、クリスチャンは「キリストさん」と呼ばれていました。そこには、優しさ、安心、期待、喜びの意味が含まれています。その逆を提供することはできません。

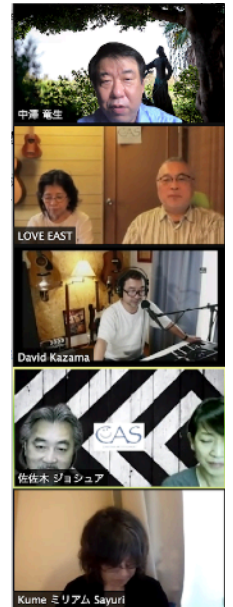
今は祈る時であり、クリスチャンネットワークを活用し、励ます時だと感じています。ぜひとも引き続き覚えてお祈りしていただくと嬉しく思います。

◆10年目に向けて

私は「集まって何かをする」という活動はとうぶんはできないと考えています。それでも10年目となる被災地を覚えていただこうと、311オンラインによるビデオ配信を企画しております。

この企画はすでに始まっており、追悼会実行委員と岩渕まこと氏をリーダーとする「LOVE EAST」が進めています。

東日本大震災被害だけでなく、各地で起こる災害、コロナ禍となる全国に向け、平安と励ましのメッセージを届けられるように制作されています。このことも覚えてお祈り、ご協力くだされば嬉しく思います。



画像は
オンライン会議の様子

－ 会計報告 －

前回繰越金：3,842円

献金収入：839,673円（2020年2月15日－7月15日）

ご献金を捧げてくださった団体様および個人様（敬称省略 順不同）

金原雅子、日本イエス・キリスト教団京都聖徒教会、清瀬グレースチャペル、佐藤由紀夫、東北ヘルプ、基督聖協団名古屋グロリアスチャペル、基督聖協団習志野教会、広島福音教会、ハワイホノルルチャーチ、大場孝子、キリスト聖協団練馬教会、世界食糧デー仙台、KGCフレンズキッズ、キリスト聖協団上田教会、キリスト聖協団青梅教会、キリスト聖協団信徒会、チャペルハーモニー、キリスト聖協団中川教会、キリスト聖協団西入間教会、新潟グレースチャペル、キリスト聖協団目黒教会、明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会、佐藤多津子、伊藤歩、永井敏夫、梶川光、栗森泰子、南谷正憲、南谷佳菜子、キリスト聖協団八王子教会、キリスト聖協団中川教会、都筑コミュニティ教会、キリスト聖協団旭川教会、船堀グレースチャペル、渡邊季美、八ヶ岳中央高原キリスト教会、長縄俊一郎、萱島キリスト教会、魚住キリスト教会、キリスト聖協団美深教会、B.F.P.ジャパン、キリスト聖協団仙台宣教センター

献金支出：672,000円（2020年2月15日－7月15日）

車両交通費：130,000円（車検含む）、事務費・通信費・DM・イベント費：50,000円、啓蒙活動費：11,000円、追悼会活動費：7,000円、慶弔費：0円、行事費（被災地）：14,000円、困りごと支援費：10,000円、雑費：0円、スタッフ費：450,000円（4名分）

次回繰越金：171,515円

－ お祈りのお願い －

この度は地域支援ネット架け橋のニュースレター「宣証」をお読みくださり、誠にありがとうございます。

地域支援ネット架け橋の活動の主体である「宣証」を継続するために献金を必要とします。

皆様にはこの活動費が満たされること、地域支援ネット架け橋の支援の輪がより広がること、現場において支援活動を継続する中澤竜生氏、佳子氏のためにお祈りくださいますようお願い申し上げます。

■地域支援ネット架け橋の活動内容はこちらのHPから→ <https://www.kakehashi2013.com>

■お問い合わせはこちらのメールアドレスへ→ kakehashi.net@gmail.com

【事務局】地域支援ネット架け橋

【電話】090-1069-3925

【活動スタッフ】中澤竜生、中澤佳子、中澤祈恵

【所在】宮城県仙台市青葉区愛子東3-14-22

【発行元】宮城県仙台市青葉区愛子東1-10-30-105

※発行元住所が変更になりました

【事務スタッフ】中澤義道、中澤愛美